

特集

学外で活躍する卒業生 ⑬  
[大分・宮崎編]

大分大学

眼科学講座 教授

久保田 敏昭(昭57卒)

# 大分大学

眼科学講座 教授

久保田 敏昭(昭57卒)

## 自己紹介

私は昭和57年に九州大学医学部を卒業し、すぐに眼科学教室に入局しました。大学院では金関毅教授の解剖学教室にお世話になりました。大学院では視覚路の神経線維連絡の勉強をしましたが、これがきっかけで視神経が障害される緑内障を専門にすることになりました。大学院修了後2年ほどして、フンボルト奨学金を得てドイツのErlangen-Nürnberg大学眼科に留学してナウマン教授に師事し、緑内障研究を行いました。留学から帰国後、九大眼科、国立長崎医療センター（大村市）、産業医大眼科と異動して、平成21年に大分大学眼科に赴任しました。

## 大分大学医学部眼科学教室の紹介

大分大学医学部の前身の大分医科大学は昭和51年10月に設置されました。大分医科大学眼科学講座が開講したのは昭和56年です。その前の昭和54年4月に初代眼科学教授の山之内外一先生が長崎大学医学部から赴任されました。昭和54年当時は山之内教授、中塚和夫助教授で教室が開始されました。平成3年3月で山之内教授が退官され、7月に中塚先生（長崎大学卒）が教授に昇任されました。平成15年10月には大分大学と統合され、大分医科大学から大分大学医学部になりました。そして平成21年7月に私が産業医科大学から大分大学眼科学教室教授に赴任しました。現在の医局在籍者は28名で関連病院は17施設です。大分県で眼科がある病院はすべて大分大学眼科から医師を派遣しています。そのため大分県での病々連携、病診連携はたいへんうまく回っています。

## 大分大学医学部附属病院の病院再整備と教室の臨床・研究

大分県の最大の基幹病院であり、唯一の教育機関として大分県医療の中心であるのが大学の立ち位置です。そして大分大学医学部附属病院では現在再整備が進行中です。PETセンター、高度救命救急センター、ドクターヘリの整備後、新病棟が一棟建設され、これらはすでに稼働しています。また、旧病棟の改装と新外来の拡張、改装が行われています。

平成27年12月に眼科はあたらしくなった東病棟に移転しました。そして平成28年7月にあたらしい眼科外来に移転しました。この移転に伴い、病棟の眼科診察室はほぼ2.5倍の面積になりました。あたらしい外来は個室診察室になり、眼科外来の面積も旧外来のほぼ1.5倍になりました。この再整備に伴い眼科の医療機器に対して昨年度は1億5千万円超の予算をつけてもらいました。国立大学病院でもトップクラスの医療機器がそろっています。ちゃんと病院収入にも貢献しています。平成21年度から順調に右肩上がりで眼科の診療報酬請求額は増加しています。

医局員は多くはないですが、研究ができる十分な設備を整えています。現在進行している面白い研究をいくつか紹介します。一つめは感染性眼疾患の包括的PCR診断の先進医療を日本で3番目に始めました。現在一度に多くの病原体を検出できる包括的PCR strip 検査キットの多施設共同研究を中心となって行っています。二つめは眼科では新しい分野である時計遺伝子を眼科学研究に応用すべく研究を行っています。三つめは緑内障のGenome Wide Association スタディに参加しています。この共同研

究で緑内障の原因遺伝子について多くの新たな知見がみつき *Nature Genetics* 2 報、*Human Molecular Genetics* に結果がすでに掲載され、さらに面白い結果がでています。

## 大分の地域の紹介

大分駅周辺は再開発が行われました。2013年7月には駅の南口（今は上野の森口といいます）にホルトホールがオープンしました。ホルトホールは駅からすぐのところにオープンしました。コンサート会場として使用できる1200名収容の大ホール、200名収容の小ホール、300名はいる大会議室、そして20名-72名はいる会議室が多数あり、中規模学会の開催ができるホールです。コンサートホールと会議室だけではなく図書館、スポーツジムなども入っています。時間がある日曜日には、スポーツジムでトレーニングをして、図書館でしばらく雑誌などを読みながら、休憩して家に帰ります。2015年春には新しい大分駅ビル（JR大分シティ）が開業しました。駅ビルは地下1階、地上21階建てで、8階から18階はJR九州ホテルブラッサム大分が開業し、19-21階には温泉施設（CITY SPA てんくう）ができています。商業エリアにはアミュプラザが入っています。1、2階にはファッション、インテリア雑貨、カフェ。3階に東急ハンズ、フードコート、4階にはレストラン街、シネマコンプレックス（複合型映画館）です。ミニ博多駅という作りです。残念ながら博多駅にはかないませんが、それでも週末には多くの人で賑わっています。

## 最後に

大分大学医学部の周囲は自然が多く、山々がすぐ近くにあり。温泉は湯布院、別府は有名です。眼科医局の忘年会は湯布院温泉か別府温泉に1泊し、1年の疲れをとります。近隣にも車で少し行けば、入浴して、休憩できる温泉があります。大学病院は市の中心部から少し離れていて、勉強するには良い環境です。大学で車を止めるとウグイスの鳴き声が聞こえます。魚がおいしく、ふぐ、関サバ、関アジは有名です。豊後牛もあり、食は抜群です。大分で温泉・食・自然を楽しみながら働くのも良いと心から思っています。



眼科医局員の新外来での集合写真。前列向かって右から4番目が筆者。